

青森県商工会報

Aomoriken Shoukou Kaihou

商工会は 行きます 聞きます 提案します

発行：青森県商工会連合会／編集：広報編集グループ
〒030-0801 青森県青森市新町2-8-26 青森県火災共済ビル5F
TEL・017-734-3394 (代表) FAX・017-773-7249

2013.1 発行

No.379

今月一枚

三戸町

“三戸城”



【戦国の世にそびえた

南部氏の居城「三戸城」】

三戸城は、1500年代中頃に三戸南部氏が居城として築いたと伝えられています。

馬淵川と熊原川の浸食によってできた河岸段丘上にあり、両河川と標高差およそ100mの地形を巧みに利用した天然の要塞となっています。

古い絵図によると、城の西側は重臣たちの屋敷跡、東は本丸とそれを取り巻く重要な曲輪で構成されており、今も城跡内には往時を偲ばせる遺構が残されています。

現在は、春には1600本の桜が咲き誇る青森県南随一の桜の名所「県立城山公園」として町内外の人々から親しまれています。

石垣や土塁の遺構を見ることができるほか、歴史民俗資料館やイベント広場、庭園などもあり、歴史ファンのみならず家族で楽しむことのできる憩いの場となっています。

Contents

- 年頭挨拶～青森県商工会連合会～ (P.1)
- 年頭挨拶～全国商工会連合会～ (P.2)
- 年頭挨拶～青森県商工会青年部連合会・女性部連合会～ (P.3)
- 青森県特産品内覧商談会 (P.4)
- 【連載】わがまちの元気な企業再発見～山菜ラーメン屋やまぼうし～ (P.5)
- 【連載】商工会だより (P.6)

年頭にあたって



全国商工会連合会
会長 石澤 義文

新年明けましておめでとうござ
います。平成二十五年の新春を迎
えるにあたり、一言ご挨拶を申し
上げます。

さて、我が国経済全般を見ると、
長引くデフレや円高、先行きが極
めて不透明な世界景気の影響を受
け、景気が減速感を強めるなか、
特に、地方の中小・小規模企業に
とっては、大手製造業の工場閉鎖
や生産拠点の海外移転による産業
空洞化の進展、中小企業金融円滑
化法終了の影響による資金繰りの
悪化懸念などにより、先の見えな
い、厳しい経営環境が続いており
ます。

こうしたなか、昨年十一月に開
催した第五十二回商工会全国大会
では、東日本大震災被災地への継
続的な支援はもちろんのこと、ま
ずは、本格的な景気回復を第一に、

疲弊を極める地方や、地域を支え
ている小規模企業に活力を与え、
また、全国隅々まで波及効果の行
きわたる、大型の景気対策を断行
するよう政府に強く要望すること
を決議したところであります。

一方で、我々商工会が、地域の再
生にあたり、今後も中核的な役割
を果たしていくため、自らが、ド
ラスティックに改革を推し進めて
いくことを、今こそ、強く決意す
る必要があります。現在、我々商
工会は「行きます 聞きます 提案
します」の合言葉のもと小規模企
業に対する巡回訪問の徹底と、地
域コミュニティを守る役割の強化
に、全組織を挙げて一丸となって
取組んでおります。

今後はさらに、新たな事業展開
や販路の新規開拓、あるいは地域
の活性化などにつながる「提案力」

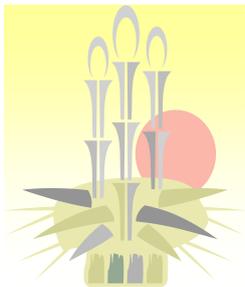
に一層磨きをかけ、地域や小規模
企業の期待に応えることができる
よう、我々も常に前進していかね
ばなりません。

昨年の全国大会のスローガンは
「小規模企業が主役の日本へ」で
した。

このスローガンを達成するため
には「地域の主役」である我々商
工会が、支援機能や組織力の強化
に全力で取組んでいくとともに、
かねてから要望している「小規模
企業基本法（仮称）」の早期制定に
向け、一致団結して声をあげてい
くことが求められております。

引き続き、皆様の一層の支援とご
協力を賜りますようお願い申し上
げます。

終わりに、全国の商工会員の皆
様並びに関係各位にとりまして今年
が明るい一年となりますよう、心
よりご祈念申し上げます。



気軽に相談 身近な窓口
↳ 独占禁止法相談ネットワー
クでは皆様からのご相談を受
け付けております！

○このようなことでお困りではあ
りませんか？

◆ どんな情報交換をすると問題な
の？

◆ 取引先が代金を一方的に減額し
ている。買ったたきに遭ってい
る。注文どおりなのに返品され
た！ 下請法違反行為じゃない
の？

当初では、このような独占禁止法
や下請法に照らして問題になるの
ではないかといった相談を受け付
けております。内容、御希望により
公正取引委員会の窓口を迅速に御
紹介します。公正取引委員会では御
相談に応じ、適切な対処、的確な対
応をいたします。

お問い合わせは

◎ 公正取引委員会事務局

東北事務所

Tel. 022-225-7095

年頭あいさつ



青森県商工会
青年部連合会
会長 濱谷浩文

平成二十五年の新春を迎え、皆様に謹んでお慶び申し上げますとともに、旧年中は青年部ならびに本県青連の事業に商工会員の皆様、青年部員の皆様をはじめ、関係各位から特段のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと一月に「NEXT INNOVATION」創造力と行動力・そして団結と絆」のテーマのもと、青森県商工会青年部連合会・青森県商工会女性部連合会組織化四十五周年記念大会が約三百名の出席で盛大に開催されました。大会においては、この四十五年間の永きにわたり、我々の先輩方が築いた功績に対し深い敬意を払いつつ、青年部の組織の意義と原点を顧み、日々の経済情勢に遅れる事なく、地域振興の先駆者となるべき活動を行うことを再確認した大会でもありました。県内の青年部員・女性部員はもとより、ご出席いただきましたご来賓

の皆様には厚く御礼申し上げます。また、若手後継者育成事業として、地域グルメや特産品の開発、

農工商連携、子供の職場体験、地元密着型連携事業、北海道新幹線開業へ向けたキャリアクタービジネスなど、様々な事業を展開して参りました。平成二十五年度もそれらを踏襲した上で、さらなる発展を目指し、地域活性化に寄与する活動を展開して参ります。

更に大きな事業といたしましては、第二十回東北六県北海道青年部員研修会が本県において開催されます。これまで以上に青森県内約八百名の英知を結集し、同大会の成功と地域活性化に取り組んでまいります。そして、この記念すべき大会において、未だ全国への切符を得たことが無い、青年部員主張発表大会最優秀賞を獲得できるように、県青連一丸となって頑張ります。

最後になりましたが、商工会員の皆様、部員の皆様、関係各位の皆様にとりまして、本年も良い年となりますようご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

新年あいさつ



青森県商工会
女性部連合会
会長 中美久里子

県内女性部員をはじめ、関係者の皆さまとともに新たな年を迎えることができましたこと対しお祝いを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと七月に開催されました「東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会」、十一月に開催された「青年部・女性部連合会組織化四十五周年記念大会」と女性部にとっては大きな行事が二つございました。さらには若手後継者等育成事業による「県下統一事業」では、ブロック毎に『郷土を再発見！商工会女性部おもてなしツアー』を企画し、商工会地域にお出でいただいたお客さまへの「おもてなし」と地域資源のPRによる活性化事業に取り組んだ年でございました。

例年以上に女性部員の皆さまにはお手数をお掛けし、特にブロック長さんや女性部長さんには度重なる会議への出席や当日の役割分担による従事作業など、大変ご苦労やご迷惑をお掛けしたと思

います。本当にありがとうございました。

お陰様をもちまして女性部東北大会も盛会裏のうちに終了し、他県・道の方々からは感謝とお褒めの言葉を沢山いただくことができました。また、おもてなしツアーでは参加者にアンケート調査を実施したところ、八割以上の方から“大変満足”そして、九割以上の方から“また参加したい”との回答をいただくことができました。

このような成果が得られましたことは、多くの女性部員が事業の趣旨をよく理解し、積極的に協力いただいた結果であると改めて感謝と敬意を表したいと存じます。

私たち女性部員を取り巻く環境は決してよいものとは云えませんが、多くの女性部員が一致協力し地元の活性化に取り組み、そして自らの企業繁栄に一層の努力をすることで、さらなる女性の地位向上と商工会女性部の組織強化につながるものと確信しております。

輝かしい新年が、皆さまにとって幸多く共に笑顔で年末を迎えられる年となりますことをお祈りして、年頭の挨拶とさせていただきます。



大盛況だった会場の様子

平成二十四年度特産品販路開拓広域サポート事業 青森県特産品内覧商談会開催！

今後の販路拡大に期待

去る一月二十一日青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸多目的ホールにおいて、青森県特産品内覧商談会が開催され、県内商工会地域から二十四の企業が出展し、県内外から三十八社、総勢七十名を超えるバイヤー等流通業者が訪れました。

この商談会は、特産品販路開拓広域サポート事業の一環として青森県内各商工会地域の食品メーカー等が開発した特産品及び一次加工食品、並びに民芸品を集めて出展者及びバイヤー等流通業者の双方にとってWIN-WINの成果に結びつくことを目的に開催されました。

当日は、試食・試飲による商談、個別商談、特産品を活用した調理実演、郷土料理によるメニュー提

案など出展者とバイヤー等流通業者の活発な交流が行われ、今後の、販路開拓が期待されるところです。これからも、当連合会では様々な企画を行い、商業者の販路を支援していきます。



試食コーナーの様子



個別商談会の様子

◆小規模企業共済制度のご案内

小規模企業共済制度は、個人事業主または会社等の役員の方が事業をやめられたり退職されたりした場合に、生活の安定や事業の再建を図るための資金をあらかじめ準備しておく国がつくった共済制度で、いわば「小規模企業の経営者のための退職金制度」といえます。

この制度の特徴は、掛金は全額所得控除。受け取る共済金も退職所得扱い又は公的年金等の雑所得扱いとなります。

また、平成23年1月から個人事業主の「共同経営者」も2名まで加入することができます。この機会に加入・増額をご検討ください。

詳しい内容のお問合せと加入申込みは、各商工会で取扱いしています。制度の運営は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が行っています。

中小企業基盤整備機構共済制度URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>

中小企業基盤整備機構コールセンター 050-5541-7171

わがまちの元気な企業再発見

きらりと輝くひと



【企業概要】

所属商工会：むつ市川内町商工会
企業名：山菜ラーメン屋やまぼうし
代表者：立石ユキ

旧脇野沢村は、下北半島の西南むつ湾に面し、観光資源としては「北限のサル」「鯛島」そして「鱈の里」として知られています。

また、最近では猪や焼干しも地域資源として取り上げられています。平成十七年にむつ市への編入合併され、商工会も川内町に合併となりました。

今回は、むつ市市川内町商工会女性部副部長でもある立石ユキさんをご紹介します。

地元食材の有効利用

旧脇野沢村商工会女性部で女性部長の時、「焼き干し（いわし）ラーメン」を開発する際裏方で事業に携わってきたと聞きます。

せっかく完成した地域のラーメンを多くの人に食べてもらいたい

と、珠算塾を営みながら「ラーメン屋」も初めて十年になるそうです。

「山菜ラーメン屋やまぼうし」では、立石さんが地元の山菜を収穫するところから始まっています。使われる野菜もできるだけ地元の農家の方から仕入れるという地元の食材にこだわっています。

更に、五年前から「猪骨ラーメン」

みそ味・塩味を開発。

それまで、処分されていた猪の骨部分を何とかできないだろうかと試行錯誤の上、骨を半日以上煮込んでスープの素を完成させました。コラーゲンが抽出されるまでには半日煮込まないといけないという。現在では店の一押しメニューとなっています。

地元食材を有効活用し、以前は八割が地元のお客さんでしたが、通年では六割以上が観光のお客さんになっています。



猪骨スープ味噌ラーメン 700 円

実は珠算塾四十五年目：

そんな地元を愛する立石さんは、脇野沢で珠算塾を開いて四十五年。「少子化で地元小学生は全校生徒四十八名にまで減っているそうですが、そのうち二十二名が塾に通っているんですよ。今後も、地域の子供達を育てる一助として頑張っていきたいと思います。」

そして「山菜ラーメン屋やまぼうし」も、地元食材にこだわって続けていきます。道の駅「鱈の里」の向いに店はありますので、是非お立ち寄りください。十一時～十四時水曜日定休日です。



商工会の旬の話題を提供します

商工会だより

各商店が感謝をこめて

三戸名物

「元祖まける日」開催

三戸町
商工会

三戸町の商店街では寛永十年（一六三三年）より三八十年続いている行事で、各商店が感謝の気持ちを込めて買い物客に大盤振る舞い。今年は二月十日、十一日の二日間開催されます。

三戸町が全町あげての大サービスをします！三戸商人の心意気を感じる二日間。各商店が趣向を凝らしたセールを行い、消費意欲の喚起を促すとともに、商店街の魅力発信に繋がることを目的としています。

また、三戸町全域を無料バスが運行する予定です。

主な集客イベント

- 当たる！当たる！！大抽選会
- 神楽・えんぶりの伝統芸能披露
- 商品券当たりくじ付き福餅

先着二百名様配布 ※両日などを計画しています。

また、今年は商店街の空き店舗を活用し「元祖まける日にぎわい広場」として町内外の方々へ解放、B級グルメ、特産品、農産物など、多彩な品揃えで皆様をお待ちしています。

お問い合わせは三戸町商工会
(☎〇一七九一二二二二二)



セールの模様



当たる!当たる!!大抽選会

酒類の消費拡大

地域活性化の推進

飲食店四十六店舗集結！

平賀はしご酒まつり

平川市
商工会

飲食業界も年々廃業する店舗が目立ち、大変厳しい景況の中ではありますが、平川市商工会では平賀地区の飲食店街への誘客を図り、酒類の消費拡大・飲食店及び酒類販売店の活性化を推進するために、毎年二月初旬に「平賀はしご酒まつり」を開催しております。

加盟店（四十六店舗）のうち予め決められた四店舗を回り、最後は大抽選会で締めくくります。今では冬の地域振興イベントとして定着しており、市内外多くの参加者で賑わいます。

その中で参加者同士の交流などにより店舗の情報交換、また新たな店舗の開拓など様々な波及効果が生まれる他、店舗間でもお互いに切磋琢磨する事により、サービスの向上にも繋がっております。お問い合わせは平川市商工会
(☎〇一七二・四四・三〇五五)



開会式の様子（鏡割り）



大盛況！大抽選会

【編集後記】

まだまだ寒さの厳しい日が続いております。皆様、風邪などに十分お気をつけ下さい。商工会報も四度目ということで徐々に編集作業が板についてきました。今後も旬な話題、イベント等掲載したいと思っておりますのでご協力よろしくお願いいたします。（佐々木）

中小企業金融円滑化法が平成25年3月で最終期限を迎えます あなたの会社の資金繰りは大丈夫ですか？

～安定経営への近道～

経営安定特別相談室のご案内

こんなお悩みありませんか。

- ◎取引先が倒産して、経営に大きく響いている。
 - ◎仕事の受注量が減ってきた。仕事の状態が長引きそうだ。
 - ◎融資により経営不振を切り抜きたい。
 - ◎赤字が解消されない。思いきった改善策を考えたい等…
- また、中小企業金融円滑化法の施行延長が平成25年3月末を持って終了することに伴い、月々の返済のお悩みや、経営改善計画に関する経営上の相談にもご対応いたします。



ご相談は、できるだけお早めに。

まだ、なんとかなる…もう少しガンバれば…と、事業を続けていくうちに、事態は深刻になり、傷口を大きく広げていくことが少なくありません。経営が不振に陥る前に、早期に適切な手を打つことが重要なポイントです。

今回、皆様の不安を少しでも取り除きたく、青森県商工会連合会では経営安定特別相談室構成員（商工調停士）がご相談に応じます。

※商工調停士業務 …中小企業の倒産に係る諸問題の円滑な解決のための相談・指導を行う。

ご相談は**無料**です。また、ご相談内容等は**秘密厳守**いたします。

◎「経営安定特別相談室」受付時間

午前10時～午後4時迄（平日のみ）

◎相談員及び相談会場

青森県商工会連合会 経営安定特別相談室 商工調停士	相談会場
石塚 徹（税理士）	石塚徹税理士事務所（弘前）
高木 邦男（税理士）	高木邦男税理士事務所（五所川原）
米内 勲（司法書士）	米内勲司法書士事務所（三沢）
工藤 力（司法書士）	たいよう総合法律経済事務所（八戸）
石川 大輔（税理士）	税理士石川大輔事務所（むつ）

お申込・お問合せは、**青森県商工会連合会**（広域指導課 企業支援グループ）

〒030-0801 青森市新町二丁目8-26 県火災共済会館5階

TEL: 017-734-3394 FAX: 017-773-7249 Mail: kouiki@aomorishokoren.or.jp